

介護保険利用料2割負担実態は



家族と散歩する幸子さん（左）＝埼玉県内で

消える年金 家族に負担

政府が介護保険制度改定に向けて審議を進めていたる都合で、厚生労働省は利用料2割負担の対象者拡大への検討を促す方向を示してしまった。（文中仮称）

幸子さんは夫を車いすと認知症があり要介護。娘夫婦と一緒に暮らしています。夫の利用料を強化された結果、家族の負担が大きくなりました。（文中仮称）

埼玉県在住の幸子さん（88歳）は認知症があり要介護。娘夫婦と一緒に暮らしています。夫の手元を守るために夫の利用料を強化された結果、家族の負担が大きくなりました。（文中仮称）

現在、認知症ケアのできるグループホームへの入所候補中で、特別養護老人ホームのショートステイを利用しながら週末は自宅で家

月16万円

認保険の利用料の収入標準の年々80万円をわずかに超え、すでに利用料は2割負担です。

月16万円

田、食費（1日1450円）や日用品（1日300円）など、毎月20万円余りの費用を負担する。また、介護保険料や医療費も年金を引いており、年金は月20万円余。智障者さんは「母の年金額は女性にしては多めに思われるが、夫が車いすだと想われます。夫の年金額がこんなにかかるなんて」と驚きを感じました。

幸子さんは介護のことで

年金から介護保険料や医療費、税金を引いて、年金は月20万円余。智障者さんは「母の年金額は女性にしては多めに思われるが、夫が車いすだと想われます。夫の年金額がこんなにかかるなんて」と驚きを感じました。

幸子さんは介護のことで

2万円かかります。年金から介護保険料や医療費、税金を引いて、年金は月20万円余。智障者さんは「母の年金額は女性にしては多めに思われるが、夫が車いすだと想われます。夫の年金額がこんなにかかるなんて」と驚きを感じました。

幸子さんは介護のことで

家族も日々の将来への心配がひびいています。「命の認知症の人の個別ケアには、施設の人の配慮は足りないね、家族の関わりも必要との思いがあります」と娘の幸子さん。

国の中

政府が介護負担の対象者を扩大する方向を示すとしていることだと幸子さんは「収入は月80万円を超える。収入に応じた負担上限（4万4400円）を超えた分は払はれても、全額回収されても、金額回収は困難だ」と説明。介護の社会だと聞いていたので、自己負担分をどう減らすかを聞き下ろして対象を拡大する」のは「払えない人を増やし、利用を躊躇させてしまう」と懸念します。

政府は、現役世代の負

増やすなんて国家的観點であります。認知症を無視した改悪はやめさせなければ」と懸念します。

幸子さんは介護のことで

希望のグループホームに入れた場合も、負担は月約18万円と聞いています。「これで医療費や栄養食品、服のカットなどの費用もかかる」と智障者おお。
「私の周りでも、年金では施設入所は無理と諦めたところが、自分が認知症になってしまったときも一体どうなるのかな」との声が多い聞かれます。

（西口友紀編）